

# アシュワガンダエキス

## Ashwagandha Extract

アシュワガンダとは

臨床研究

毒性

バイオアクティブズの  
アシュワガンダ

製品規格

### ●アシュワガンダとは

サンスクリット語でアシュワガンダとは「馬の香り」を意味し、馬のような活力を与えられるとされています。アシュワガンダは「インド人参」とも呼ばれ、植物的には朝鮮人参とは関係がありませんが、その身体活性化作用が似ており、男女を問わず性的能力を高める効果があることも知られています。また、ストレスの軽減作用、抗酸化作用、抗癌効果についても研究されています。アシュワガンダは、インドや西アジア、北アフリカなどの乾燥地に自生する30~150cmほどの高さの低木です。根は肉厚で、茶色~白みがかった色をしています。



### ●臨床的適応

【不妊症】アシュワガンダの根が75名の不妊症男性の精液に与える影響について調べた実験で、アシュワガンダが酸化ストレスレベルを下げ、精液内の精子の量、質ともに改善させたことが確認されました<sup>1)</sup>。さらに、血清テストステロン、黄体形成ホルモン、卵胞刺激ホルモンなどの値も改善させました。

【不安】アシュワガンダは、通常処方されている精神安定剤や抗うつ剤と同様の効果、すなわち抗不安剤のロラゼパム (Ativan<sup>®</sup>)、抗うつ剤のイミプラミン (Tofranil<sup>®</sup>) に近い効果を持つことが確認されています<sup>2)</sup>。

【ストレス】ストレスは脂質の過酸化を増加させ、抗酸化機能をもつカタラーゼやグルタチオンペルオキシダーゼなどの酵素レベルを下げます。アシュワガンダが量に依存して、これらの酵素レベルを改善し、フリーラジカルによるダメージを防ぐという効果がわかっています<sup>3)</sup>。

【神経変性 (アルツハイマー)】富山大学の研究では、神経細胞がダメージを受け、神経信号が正常に働かない場合に、アシュワガンダが軸索と樹状突起やシナプスの再生を助ける働きをしていたことがわかっています。従ってアシュワガンダ抽出物が、神経システムのネットワークを再生し、アルツハイマーなどの神経変性疾患の治療にも役立つことが期待できます<sup>4)-6)</sup>。

### ●毒性

マウスによる亜慢性毒性試験においてアシュワガンダを90日間摂取させたところ、毒性は見られませんでした<sup>7)</sup>。生理食塩水に溶かしたアシュワガンダのアルコール抽出物を使用した実験で、LD<sub>50</sub>は1750±41mgでした<sup>8)</sup>。

### ●バイオアクティブズのアシュワガンダ

バイオアクティブズジャパンでは、インド産のアシュワガンダの根から2.5%~5.0%のウィザノライドを規格化 (HPLC法) したエキスを、インドのグループ工場にて製造し供給しています。

#### 参考文献

- 1) Ahmad *et al.* (2009) *Fertil. Steril.*
- 2) Bhattacharya *et al.* (2000) *Phytomedicine* **7**(6):463-9
- 3) Bhattacharya *et al.* (2001) *Ethnopharmacol* **74**(1):1-6
- 4) Kuboyama *et al.* (2005) *Pharmacol.* **144**(7):961-71
- 5) Tohda *et al.* (2000) *Neuroreport* **26**:11(9):1981-5
- 6) Tohda *et al.* (2005) *Neurosignals* **14**(1-2):34-45
- 7) Aphale *et al.* (1998) *Indian. J. Physiol. Pharmacol* **42**(2):299-302
- 8) Singh *et al.* (1982) *Int. J. Crude. Drug. Res.* **20**:29-35

### ●製品規格 (例: アシュワガンダエキス5%)

外観・性状	: 少し吸湿性のある粉体
色	: 薄茶色~茶色
乾燥減量	: 6.0%以下
灰分含量	: 10.0%以下
重金属	: 10ppm以下
ヒ素	: 1ppm以下
鉛	: 5ppm以下
ルース密度	: 0.35~0.75g/ml
タップ密度	: 0.40~0.80g/ml
篩別試験	: 40メッシュを100.0%通過
ウィザノライド含量	: 5.0%以上 (HPLC)
微生物試験	: 食品衛生法基準に準拠
梱包	: 1kgまたは10kg
推奨使用量	: 300mg/日



BIO ACTIVES JAPAN CORPORATION

バイオ アクティブズ ジャパン株式会社

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20-9F

TEL 03-5981-0601 FAX 03-5981-0602

E-mail: info@bioactivesjapan.com <http://www.bioactives.co.jp/>